

## 大雨が降ると...

一瞬にして多くの人命や財産を奪ってしまう  
**土砂災害が発生!**

崖崩れや土石流の発生を確認して  
から避難することはできない。



広島市の土石流による被害の様子  
(平成26年8月20日気象庁撮影)

平成26年8月豪雨では、広島県広島市で土石  
流が発生し、人的被害をもたらした。

中小河川は**水位が急激に上昇!**

中小河川は、大雨が降ると短時間のうち  
に急激な水位上昇が起こりやすい。



福岡県朝倉市を流れる北川の様子  
(出典：国土地理院ホームページ)

平成29年7月九州北部豪雨では、福岡県朝倉  
市の赤谷川、北川等で水位が短時間で上昇して  
氾濫が発生し、人的被害をもたらした。

大河川は**広範囲・長時間浸水!**

大河川で水が堤防を越えたり堤防が  
決壊したりすると、広範囲が長時間浸水  
するなど大きな被害となる。



茨城県常総市の浸水被害  
(資料：国土交通省関東地方整備局)

平成27年9月関東・東北豪雨では、鬼怒川の氾  
濫で茨城県常総市の約3分の1の面積が浸水し、  
浸水が概ね解消するまでに10日を要した。

ハザードマップを参考に、  
キキクルや指定河川洪水予報を活用し、

**安全に避難できる早い段階で避難開始を判断**することが重要!



# (参考)大雨による災害の留意事項②

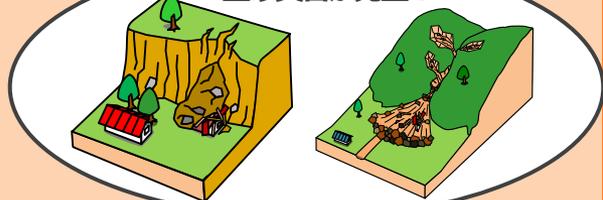
## 大雨がやんでも...

### 土砂災害の危険が継続!

雨が弱まったりやんだりしても、それまでに降った大雨により地盤が緩んだ状態が続き、土砂災害が発生することがある。

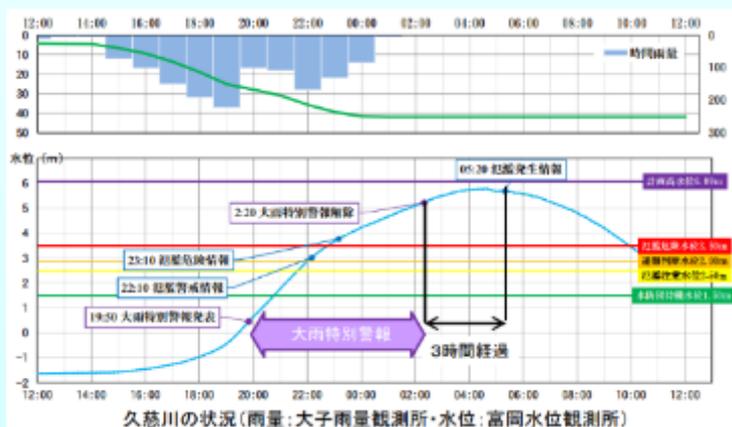


### 土砂災害が発生!



### 油断禁物! 大河川は時間差で増水

大河川は上流の雨により下流で遅れて増水する。このため、大雨が止んだ後であっても、水位が上昇し氾濫することがある。



(出展: 「第1回気候変動を踏まえた水災害対策検討小委員会」資料に加筆)

令和元年東日本台風では、吉田川、阿武隈川、石田川、蛇尾川、都幾川、越辺川、久慈川、千曲川の7河川で大雨特別警報解除後に氾濫発生情報を発表している。

避難先から家に帰る前に

**自治体の避難情報や気象情報を確認することが大切!**

危険な状況ではなくなったことを確認してから家に帰りましょう。



## 位置づけ・役割

### <位置づけ>

大雨特別警報は、避難指示に相当する気象状況の次元をはるかに超えるような現象をターゲットに発表するもの。発表時には何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い。

### <役割>

- (1) 土砂災害警戒区域や浸水想定区域など、災害の危険性が認められている場所からまだ避難できていない住民が直ちに命を守る行動を徹底
- (2) 災害が起きないと思われているような場所においても災害の危険度が高まる異常事態であることの呼びかけ
- (3) 速やかに対策を講じないと極めて甚大な被害が生じかねないとの危機感を防災関係者や住民等と共有することによる、被害拡大の防止や広域の防災支援活動の強化

# (参考)5段階の警戒レベルと防災気象情報

| 気象庁等の情報<br>キキクル                 |      | 市町村の対応     |   | 住民がとるべき行動  | 警戒レベル |
|---------------------------------|------|------------|---|--|-------|
| 大雨<br>特別警報                      | 災害切迫 | 氾濫<br>発生情報 | 緊急安全確保<br>※必ず発令される情報ではない  | 命の危険 直ちに安全確保！<br>・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。      | 5     |
| <警戒レベル4までに必ず避難！>                |      |            |   |  |       |
| 土砂災害<br>警戒情報                    | 危険   | 氾濫<br>危険情報 | 避難指示<br>第4次防災体制<br>(災害対策本部設置)   | 危険な場所から全員避難<br>・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。              | 4     |
| ※<br>大雨警報<br>洪水警報               | 警戒   | 氾濫<br>警戒情報 | 高齢者等避難<br>第3次防災体制<br>(避難指示の発令を判断できる体制)  | 危険な場所から高齢者等は避難<br>・高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。 | 3     |
| 大雨警報に<br>切り替える<br>可能性が高い<br>注意報 | 注意   | 氾濫<br>注意情報 | 第2次防災体制<br>(高齢者等避難の発令を判断できる体制)  | 自らの避難行動を確認<br>・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。    | 2     |
| 大雨注意報<br>洪水注意報                  |      |            | 第1次防災体制<br>(連絡要員を配置)  | 災害への心構えを高める  | 1     |
| 早期注意情報<br>(警報級の可能性)             |      |            | <ul style="list-style-type: none"> <li>心構えを一段高める</li> <li>職員の連絡体制を確認</li> </ul> |  |       |

※ 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3(高齢者等避難)に相当します。

「避難情報に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成

- 土砂災害や洪水等からの自主的な避難の判断に役立てていただくために、危険度が高まったときにメールやスマホアプリでお知らせするプッシュ型の通知サービス※1を実施しています。
- この通知は市町村からの避難指示等よりも先に届く場合があります。このため、通知を受信したときには、市町村からの避難指示等を確認するとともに、避難指示等が発令されていなくても、市町村内のどこで危険度が高まっているかを「キキクル(危険度分布)」の地図や河川の水位情報等で確認することで、自主的な避難の判断※2・3に活用いただけます。



※1 住民の主体的な避難の判断を支援する取組の一環として、気象庁の協力のもとで、以下のリンク先の5つの事業者が実施するものです。  
([https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/ame\\_push.html](https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/ame_push.html))。

※2 離れた場所に暮らしている家族に避難を呼びかけることにも活用いただくことができます。

※3 避難にあたっては、指定された避難場所への避難がcaえて危険な場合には、少しでも崖や沢から離れた建物や、少しでも浸水しにくい高い場所へ移動するなど、自らの判断でその時点で最善の安全確保行動をとることが重要です。

# (参考)大雨による災害の留意事項①

## 大雨が降ると...

一瞬にして多くの人命や財産を奪ってしまう  
**土砂災害が発生!**

崖崩れや土石流の発生を確認して  
から避難することはできない。



広島市の土石流による被害の様子  
(平成26年8月20日気象庁撮影)

平成26年8月豪雨では、広島県広島市で土石流が発生し、人的被害をもたらした。

中小河川は**水位が急激に上昇!**

中小河川は、大雨が降ると短時間のうちに急激な水位上昇が起こりやすい。



福岡県朝倉市を流れる北川の様子  
(出典：国土地理院ホームページ)

平成29年7月九州北部豪雨では、福岡県朝倉市の赤谷川、北川等で水位が短時間で上昇して氾濫が発生し、人的被害をもたらした。

大河川は**広範囲・長時間浸水!**

大河川で水が堤防を越えたり堤防が決壊したりすると、広範囲が長時間浸水するなど大きな被害となる。



茨城県常総市の浸水被害  
(資料：国土交通省関東地方整備局)

平成27年9月関東・東北豪雨では、鬼怒川の氾濫で茨城県常総市の約3分の1の面積が浸水し、浸水が概ね解消するまでに10日を要した。

ハザードマップを参考に、  
キキクルや指定河川洪水予報を活用し、

**安全に避難できる早い段階で避難開始を判断**することが重要!



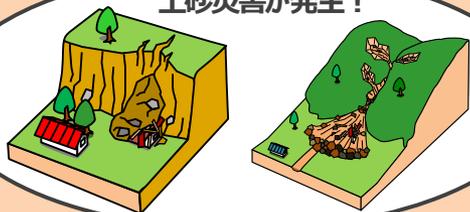
## 大雨がやんでも...

### 土砂災害の危険が継続!

雨が弱まったりやんだりしても、それまでに降った大雨により地盤が緩んだ状態が続き、土砂災害が発生することがある。

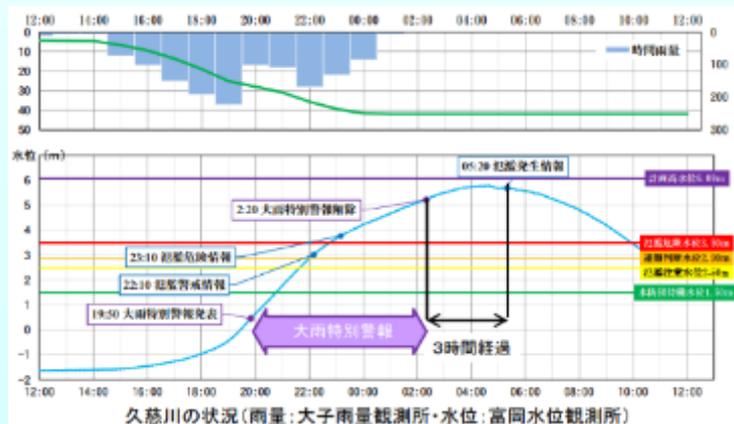


土砂災害が発生!



### 油断禁物! 大河川は時間差で増水

大河川は上流の雨により下流で遅れて増水する。このため、大雨が止んだ後であっても、水位が上昇し氾濫することがある。



(出展: 「第1回気候変動を踏まえた水災害対策検討小委員会」資料に加筆)

令和元年東日本台風では、吉田川、阿武隈川、石田川、蛇尾川、都幾川、越辺川、久慈川、千曲川の7河川で大雨特別警報解除後に氾濫発生情報を発表している。

避難先から家に帰る前に

**自治体の避難情報や気象情報を確認することが大切!**

危険な状況ではなくなったことを確認してから家に帰りましょう。



# (参考)5段階の警戒レベルと防災気象情報

| 気象庁等の情報<br>キキクル                 |                                 | 市町村の対応     |   | 住民がとるべき行動  | 警戒レベル |
|---------------------------------|---------------------------------|------------|---|--|-------|
| 大雨<br>特別警報                      | 災害切迫                            | 氾濫<br>発生情報 | 緊急安全確保<br>※必ず発令される情報ではない  | 命の危険 直ちに安全確保！<br>・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。      | 5     |
| <警戒レベル4までに必ず避難！>                |                                 |            |   |  |       |
| 土砂災害<br>警戒情報                    | 高潮<br>特別警報                      | 危険         | 避難指示<br>第4次防災体制<br>(災害対策本部設置)   | 危険な場所から全員避難<br>・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。              | 4     |
| ※<br>大雨警報<br>洪水警報               | 高潮警報に<br>切り替える<br>可能性が高い<br>注意報 | 警戒         | 高齢者等避難<br>第3次防災体制<br>(避難指示の発令を判断できる体制)  | 危険な場所から高齢者等は避難<br>・高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。 | 3     |
| 大雨警報に<br>切り替える<br>可能性が高い<br>注意報 | 高潮<br>注意報                       | 注意         | 第2次防災体制<br>(高齢者等避難の発令を判断できる体制)  | 自らの避難行動を確認<br>・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。    | 2     |
| 大雨注意報<br>洪水注意報                  |                                 |            | 第1次防災体制<br>(連絡要員を配置)  | 災害への心構えを高める  | 1     |
| 早期注意情報<br>(警報級の可能性)             |                                 |            | <ul style="list-style-type: none"> <li>心構えを一段高める</li> <li>職員の連絡体制を確認</li> </ul> |  |       |

※ 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3(高齢者等避難)に相当します。

「避難情報に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成

# ハザードマップで災害リスクを確認！！

## 1 「ハザードマップ」で検索

## 2 ハザードマップポータルサイトで

The screenshot shows the Hazard Map Portal Site interface. It is divided into two main sections: "身のまわりの災害リスクを調べる" (Check disaster risk around you) and "地域のハザードマップを閲覧する" (Browse regional hazard maps).

**身のまわりの災害リスクを調べる**  
重ねるハザードマップ  
洪水・土砂災害・高潮・津波のリスク情報、道路防災情報、土地の特徴・成り立ちなどを地図や写真に自由に重ねて表示します。

**地域のハザードマップを閲覧する**  
わがまちハザードマップ  
市町村が法令に基づき作成・公開したハザードマップ

**住所から探す** 住所を入力することで、その地点の災害リスクを調べます。  
例：茨城県つくば市北郷1 / 国土地理院

**現在地から探す** 現在地から探す  
新機能（災害リスク情報のテキスト）

**地図から探す**  
地図を見る

**災害の種類から選ぶ**  
洪水 土砂災害 高潮 津波

**地域検索**  
都道府県  
市区町村  
ハザードマップの種類  
この内容で閲覧

**Annotations:**  
- A yellow callout box labeled "住所入力" (Address input) points to the address search field.  
- A yellow callout box labeled "現在地検索" (Current location search) points to the "現在地から探す" button.

# ハザードマップで災害リスクを確認！！

3 地図上に文章でリスクや取るべき行動が表示されます

最大浸水深は何  
m？

床上浸水？  
2階まで浸水？

土砂災害の危険性は？

命を守るための行動は？

